

令和3年度保健医療政策課所管「地域保健福祉関係職員研修」実施結果

R4.3.25

研修の名称	目的・内容等	対象者	時期・方法	テーマ・講師
<p>保健医療（福祉）関係職員</p> <p>健康福祉セミナー</p>	<p>健康医療福祉分野における最新の課題等について、関係機関連携、多職種連携を実践的に図るためのセミナーを行う。</p>	<p>県及び市町村の地域保健福祉関係職員、地域の医療・福祉従事者等(各150名程度)</p>	<p>■1回目 8月16日(月)～9月6日(月) オンデマンド配信</p> <p>■2回目 2月21日(月)～3月11日(金) オンデマンド配信</p>	<p>①「様々な立場から考える避難所運営 ～他職種間での連携・協働を見据えて～」 講師：大内幸子（仙台市地域防災リーダー） 朝倉智美（感染管理認定看護師）他</p> <p>②「新しい形の地域医療から見てきた私たちの健康 ～『工夫』と『つながり』で地域住民の健康を実現するために～」 講師：紅谷浩之（医師・医療法人社団オレンジ理事長）</p>
<p>健康福祉研究発表会</p>	<p>保健・医療・福祉に関する事業、調査等の成果について、日頃業務に従事する職員による発表会。発表および意見交換の機会を持つことで、専門性向上や、相互ネットワークの醸成、業務改善を目指す。</p>	<p>県及び市町村の地域保健福祉関係職員、大学教員(250名程度)</p>	<p>誌上発表及び 2月10日(木)～3月11日(金) 講演（オンデマンド配信）</p>	<p>講演「新型コロナウイルス感染症とメンタルヘルス」 講師：重村 淳（目白大学保健医療学部教授）</p>
<p>保健師分野別研修</p> <p>新任保健師研修</p>	<p>保健師記録の書き方やコミュニケーション能力の向上など保健活動に関する基礎的知識・技法を習得するとともに、組織の一員として、保健師はどう動いていくべきか、保健師の役割について学ぶ。(2日間)</p>	<p>県及び市町村の新任保健師(100名程度)</p>	<p>■1日目 7月9日(金) 県民健康センター 大ホール</p> <p>■2日目 9月21日(火) オンライン開催</p>	<p>①「キャリアレベルA1の獲得を目指すステップ」講師：県筆頭保健師 「保健活動の展開と楽しさ」講師：県保健師 「相談支援の基本」講師：県主幹級保健師 コーディネーター：石崎順子（埼玉県立大学 准教授）他</p> <p>②「保健活動の展開と楽しさ」講師：市保健師 「保健師の専門性とアイデンティティの獲得」 講師：石崎順子（埼玉県立大学 准教授） 他</p>
<p>P D C A 研修</p>	<p>【1. 対人支援活動】【2. 地域支援活動】【3. 事業化・施策化のための活動】【5. 管理的活動】 【6. 保健師の活動基盤】のキャリアラダーA 3レベルの能力の獲得を目指す。(中堅保健師として担当事業を見直し、新たな事業を計画・企画するために、統計資料活用やPDCAサイクルに関する研修を行う。)(2日間)</p>	<p>県及び市町村の採用後6～10年目の中堅保健師(50名程度)を想定</p>	<p>■1日目 8月17日(火) オンライン開催</p> <p>■2日目 9月27日(月) オンライン開催</p>	<p>①「健康指標の理解と活用」講師：県衛生研究所管理栄養士 「保健活動におけるPDCAの活用」 講師：米澤純子（文京学院大学） 他</p> <p>②「PDCAサイクルの実践」講師：市保健師 「保健活動におけるPDCAの活用」 講師：米澤純子（文京学院大学） 他</p>
<p>大規模災害時対応研修</p>	<p>【1. 政策策定と評価】【2. 危機管理】のキャリアラダーB 2レベルの能力の獲得を目指す。(大規模災害時に求められる中堅後期保健師の役割についてを学びグループワークで実践的に業務に生かすための研修を行う。)</p>	<p>県及び市町村の採用11年目から係長(主査)級の保健師(50名程度)を想定。なお今年度は、災害時に連携するDWATの研修との共同開催とした。</p>	<p>■1日目 8月16日(月)～11月30日(火) オンデマンド配信</p> <p>■2日目 11月30日(火) オンライン開催</p>	<p>①「災害時における医療・保健等に係る体制」講師：県保健所医員 「災害対応に活用できる感染症の基本」 講師：朝倉智美（感染管理認定看護師） 「他職種と連携した災害時の福祉支援」 講師：鈴木伸明（群馬県社会福祉協議会災害福祉支援専門幹）</p> <p>②「避難所等における保健活動の展開」講師：県主幹級保健師 「避難所運営の実践」 講師：天野和彦（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任教授）他</p>

研修の名称	目的・内容等	対象者	時期・方法	テーマ・講師
<p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: -40px; top: 50%; transform: translateY(-50%);">保健師分野別研修</p> <p>ブレ管理期研修</p>	<p>県及び市町村の管理的立場の保健師が、効果的な保健活動を組織的に展開するために求められる能力や果たすべき役割を理解し、地域住民の健康の保持・増進に貢献する資質の向上を図る。(1.5日間)</p>	<p>県及び市町村の管理者あるいは次期管理者の保健師(20名程度)</p>	<p>■1日目 10月18日(月)～11月2日(火) オンデマンド配信</p> <p>■2日目 11月9日(火)オンライン開催</p>	<p>■1日目 講演①：保健師管理者に必要な機能と能力 ②：根拠に基づく事業・施策の展開 他 講師：安齋ひとみ（目白大学看護学部看護学科教授）他</p> <p>■2日目 グループワーク コーディネーター：安齋ひとみ（目白大学看護学部看護学科教授）</p>
<p>管理期保健師研修</p>	<p>管理期保健師としてマネジメント能力及びリーダーシップ向上に資するため、活動指針の活用や健康危機管理に関する研修を行う。(2日間)</p>	<p>県及び市町村の管理的立場の保健師(50名程度)</p>	<p>2月16日(水)～3月16日(水) オンデマンド配信</p>	<p>「災害時の管理期保健師の役割と平時の備え～災害時の保健活動推進マニュアルから～」 講師：松本珠実（大阪市健康局健康推進部 保健主幹）</p>
<p>県・市町村保健師連絡調整会議</p>	<p>各保健所で管内において地域別会議を開催するとともに、当課主催で県全体会議を開催。情報・課題を共有し、現任教育に役立てる。(保健師現任教育体制整備事業)(2日間)</p>	<p>県及び市町村の主に管理的立場の保健師</p>	<p>■1回目 10月5日(火)～10月25日(月) オンデマンド配信</p> <p>■2回目 3月下旬 書面にて開催予定</p>	<p>①「保健師教育の変遷をふまえた今後の人材育成のあり方」 講師：関美雪（埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科） ②「川越市福祉総合相談窓口の取組について」 講師：川越市課長級保健師、川越市副主幹級事務職員 ③「COVID-19対策を通じた保健師の役割について」 講師：県保健所副所長級職員</p>
<p>プリセプター研修</p>	<p>県及び市町村の新規採用保健師の教育担当保健師(プリセプター)が、新任保健師育成の重要性を理解し、教育担当者としてのマインドと効果的に新規採用保健師を育成するスキルを習得し、教育担当者としての意欲を高めることを目的として研修を行う。</p>	<p>県および市町村の新規採用保健師の教育担当者</p>	<p>■1日目 9月13日(月) オンライン開催</p> <p>■2日目 12月7日(火) さいたま商工会議所第1・2ホール</p>	<p>①「新任保健師育成に向けた仕事の進め方」講師：県主幹級職員 「プリセプターの役割と経験学習」 講師：嶋津多恵子（国際医療福祉大学大学院） 他 「新任保健師への効果的なフィードバック」講師：市課長補佐級保健師 ②「プリセプターを経験して学んだこと」講師：市保健師 「経験学習を深める人材育成面接」「新任保健師の人材育成を振り返る」 講師：嶋津多恵子（国際医療福祉大学大学院） 他</p>

	研修の名称	目的・内容等	対象者	時期・方法	テーマ・講師
埼玉県保健師研修	埼玉県新規採用保健師研修	年齢構成や教育背景、職務経験が多様な新規採用保健師が、埼玉県保健師としてのアイデンティティを獲得すると共に、公衆衛生活動の基本を理解し、地域課題をふまえた保健活動の展開方法を習得することを目的とする。	県新規採用保健師	<p>■1日目 4月28日(水) 埼玉会館 3C会議室 (参加者) 県：39名</p> <p>■2日目 12月2日(火) 別所沼会館 大会議室 (参加者) 県：38名</p>	<p>①「埼玉県保健師としての意識・姿勢」講師：県筆頭保健師 講義：「地域活動と活動展開の実際」講師：県保健師</p> <p>②「ポスト・ウィズコロナの保健活動を見据えて」講師：県副所長級保健師 「PDCAサイクルを活用した活動評価」 講師：米澤純子（文京学院大学 教授） 他</p>
派遣	保健師派遣研修	中央会議、師長研修会、保健師等ブロック別研修会（関東甲信越ブロック・栃木県）等へ派遣	県保健師	通年	実施主体で実施